

「視覚障がい者対応講座」を実施 ～ 職員70名が受講 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 河村正雄）は、2月6日（月）、職員を対象に「視覚障がい者対応講座」を実施しました。平成27年から毎年実施し、3回目となります。

当金庫は、障がいのあるお客さまに安全で円滑なお取引きを行っていただけるよう、さまざまな取り組みを進めています。その一環として、視覚障がい者に関する正しい知識を身に付け、その対応方法などを習得するため、今回の講座を実施しました。

当日は、大阪市社会福祉協議会と大阪市福祉教育語りの会から講師を招き、視覚障がい者に出会ったときの接し方やさまざまな場所での具体的な介助方法等のポイントについて、実演も含めわかりやすい説明を受けました。続いて、当金庫事務指導室による代筆の取り扱いやサインガイドの使用方法についての研修も実施しました。

今回の受講で得た知識を生かし、障がいのあるお客さまに少しでも安心してお取引きいただくことができるよう心のこもった対応を実践し、今後とも障がいのあるお客さまの利便性向上に努めてまいります。

記

1. 概要

- (1) 実施日 平成29年2月6日（月）
- (2) 会場 本店10階研修室
- (3) 受講者数 70名
- (4) 講師
 - ・社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
修田 翔 氏、松田 洋子 氏
 - ・大阪市福祉教育語りの会
鈴木 昭二 氏、山本 美恵子 氏
 - ・当金庫 事務指導室 職員

2. 視覚に障がいのあるお客さまに配慮した当金庫の主な取り組み

- (1) 視覚障がい者対応ATMを設置
- (2) 視覚障がい者用 音声による来店案内システムを導入（一部店舗）
- (3) 点字ブロックの敷設、点字による取引記録明細、満期案内の発行等
- (4) 窓口振込手数料をATM扱いと同額に引き下げ
- (5) サインガイド(自署いただく箇所がわかる型枠)を全店に設置



講座の様子



講師をモデルに介助を体験する職員(右)

以上